

- 1 テーマ 考え, 議論する道徳の時間の在り方
- 2 主題名 希望と勇気, 克己と強い意志 A- (4) あきらめない心
- 3 教材名 私の存在 (中学生の道徳 道しるべ2)
- 4 ねらい 自分の目標に向かって, 粘り強く取り組もうとする態度を育てる。

5 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

内容項目A- (4) は、「より高い目標を設定し, その達成を目指し, 希望と勇気を持ち, 困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること」をねらいとしている。

中学生の時期は, 困難や失敗を経験して挫折を味わったり, 自分自身の目標を見失い思い悩んでしまったりすることも多くある。また, 目標の達成に向けて一生懸命努力している人を, かつこ悪いと考えがちでもある。

そこで, 自分なりの目標を持ち, その過程で困難に直面することもあるかもしれないが, 目標に向かって最後まで粘り強く取り組む態度を育てていきたいと考え, 本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

第2学年3組 事前アンケート結果 (*月*日 (木) 実施*人)

① 頑張ることは大切だ	はい *人	いいえ *人
② 頑張っても結果が出ないと, 頑張ったことは無駄である	はい *人	いいえ *人
③ 頑張ることは大切だと分かっているが, なかなか頑張れない	はい *人	いいえ *人
④ 好きなことなら頑張れるが, 興味がないと頑張れない	はい *人	いいえ *人
⑤ (合唱で) 頑張ったのに, 最優秀賞を取れなければがっかりだ	はい *人	いいえ *人
⑥ (合唱で) あまり頑張らなくても, 最優秀賞を取れたら嬉しい	はい *人	いいえ *人
⑦ これまでに長い間 (1ヶ月や1年間, それ以上でもよい) 続けて頑張ったことがありますか	はい *人	いいえ *人

事前のアンケートでは, ほぼ全員の生徒が「頑張ることは大切である」と答えている。しかし, 「頑張ることが大切であることに気がつきながらもなかなか頑張れない」, 「興味がないと頑張れない」と答えた生徒もそれぞれ約6割以上いた。また, 「(合唱で) あまり頑張らなくても賞を取れれば嬉しい」と答えた生徒も約2割程度いた。そこで, 自分がなかなか興味をもてないものや, 目的意識が低い事柄に対しては, 意欲をもって取り組みにくい気持ちにも共感しながら, 自己の内面にある弱い心に打ち勝ち, 自分の決めた目標に向かって努力し, 最後まで粘り強く取り組もうとする態度を育てていきたい。

(3) 教材について

本教材は, 希望をもって吹奏楽部に入部した主人公の洋子だったが, 様々な状況から, 次第に部活動に対する意欲を失っていく。しかし, けがをしたことがきっかけで立ち直り, 演奏会を成功に終わることができた。自分自身の弱い気持ちを断ち切り, 努力をすることができた洋子の姿からねらいにせまることのできる内容である。

授業では, 活発に意見交換を行わせるために, お互いに顔を見合いながら議論できるコの字型の学習形態を基本とする。また, 役割演技を行う場面では, 3~4人の学習グループでの学習形態にし, 「洋子はけがについてどのように部員に打ち明けるだろうか。」と問い, 活動を行わせたい。友人とのかかわりの中で多面的・多角的に考えたり, 自我関与をさせたりして, 目標に向かって, 粘り強く取り組もうとする態度を育てていきたい。

6 本時の指導

(1) 準備・資料

・教材「私の存在」 アンケート結果 提示資料 ワークシート

(2) 学習指導過程

配時	主な活動内容及び発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点と評価（評価○）
2分	1 アンケート結果を確認する。		・アンケート結果を提示することで、学級の実態を理解させる。
4分	2 資料の前半を読み、話の内容を確認する。	・教師の範読を聞く。	・ねらいに迫るために、資料の途中を中略し、演奏会が大成功に終わったことは隠しておく。
3分	3 洋子の気持ちについて考える。 ○ 入部した頃は、どんな気持ちで練習をしていたのだろう。	・頑張りたい。 ・上手に吹けるようになりたい。 ・早く演奏会に出たい。	・あらすじが一目でわかるように、ホワイトボードを活用する。 ・自分自身が入部した頃の気持ちはどうだったか、振り返らせる。
3分	○ 練習することが急にばかばかしく思ってしまったのはなぜだろう。	・自分の予定を優先したいから ・皆が揃わないし、やっても意味がないから。 ・難しすぎて吹けないから。	・ねらいに迫るため、他の部員は継続して頑張る気持ちがあることを押さえる。 ・途中で投げ出したくなる気持ちにも気付かせるため、自分だったらどんな気持ちになるか、自我関与をさせながら考えさせたい。
8分	4 役割演技を行う。 ○ 洋子はけがについてどのように部員に打ち明けるだろうか。	(やりとりの例) B 口のどうしたの！大丈夫？楽器吹けないでしょう。 A そうなの。みんなに迷惑かけちゃうんだよね。できることを頑張るよ。 B 早く治してね。	・3～4人の学習班で、洋子役(A)、同学年の部員・質問役(B)、観察役(C, D)を交代で行わせる。 ・Aが役割演技をしたら、Bの生徒は質問をする。Aの生徒はその質問に対して返答ができるようにし、C, Dの生徒は感想を述べる。
2分	5 資料の後半を読み、演奏会は大成功に終わったことを知る。	・教師の範読を聞く。	・全体の前で、1～2組発表させる。 ・成功に終わったことを知ることによって、成功までの過程で気持ちにどんな変化があったのかを考えやすくする。
10分	6 洋子の気持ちについて考える。 ◎ あまり喜べない洋子がいるのはなぜだろう。	・継続して、真剣に練習に取り組まなかったから。 ・ちゃんと練習に出ていなかったから。	
15分	7 授業を振り返り、目標に向かって頑張ることはなぜ大切なのか考える。	・一生懸命頑張って、目標を達成できたら嬉しいから。 ・あきらめずに頑張ることで気持ちが強くなるから。 ・次に困難があっても乗り越えることができるようになるから。 ・粘り強く取り組むことで、自分自身が成長できるから。	・自我関与をさせるために自分の経験などもふまえて考えさせたい。 ○目標に向かって、粘り強く取り組もうとすることの大切さに気付くことができたか。(発表・ワークシート)
3分	8 教師の説話を聞く。「松岡修造の話」		・困難に直面しても、粘り強く取り組んで欲しいことを伝える。